

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号：CRC-114

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Cmab + FOLFIRI (Cmab : weekly)	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	N Engl J Med 360: 1408-17, 2009

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート ボラミン 生理食塩液	6.6mg 5mg 50mL	点滴静注	5分	↓								↓					
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓								↓					
③	アービタックス 生理食塩液	400mg/m ² 500mL	点滴静注	120分 (初回)	↓								↓					
	アービタックス 生理食塩液	250mg/m ² 250mL	点滴静注	60分 (2回目以降)														
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分	↓								↓					
⑤	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓													
⑥	レボホリナート* 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑦	イリノテカン* 5%ブドウ糖液	150mg/m ² 250mL	点滴静注 (側管)	90分	↓													
⑧	5-FU 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	点滴静注	5分	↓													
⑨	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² 適量	点滴静注	46時間	→													
*⑥と⑦は同時に投与																		

<注意事項/備考>

- ✓ Cmab：初回400mg/m²を生食500mLに溶解し2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を生食250mLに溶解し1時間かけて投与
- ✓ Cmab投与後の経過観察時間について：経過によっては省略可（生食50mL 5分に変更） / 定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ インフュージョンリアクション（Cmab）：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹（Cmab）：比較的早期から生じる。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
- ✓ 爪囲炎（Cmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を